

繪首
入書

世界都路

南亞米利加洲

六

柳田文庫

文庫11

A1837

6



南米利幹全圖

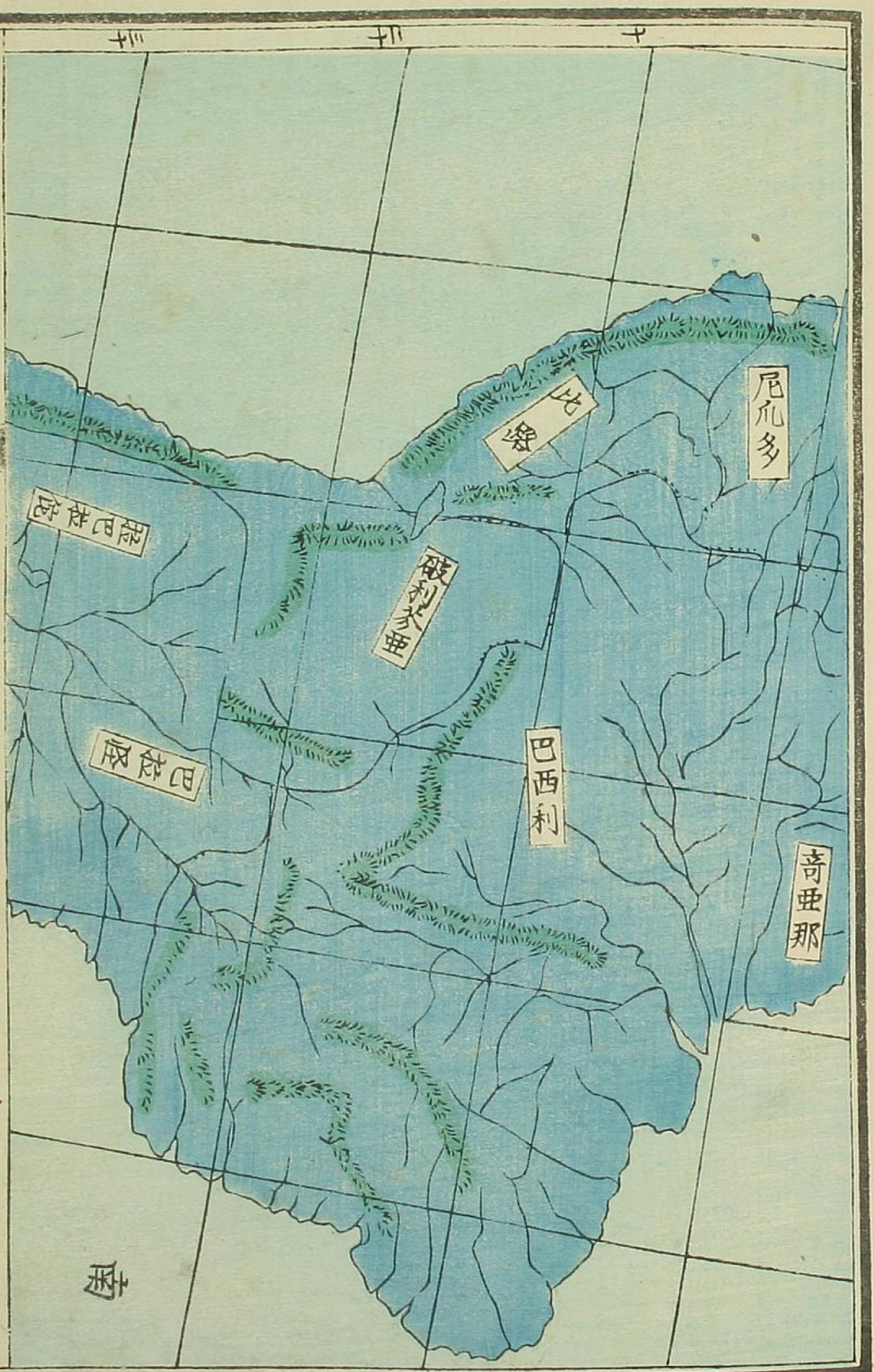
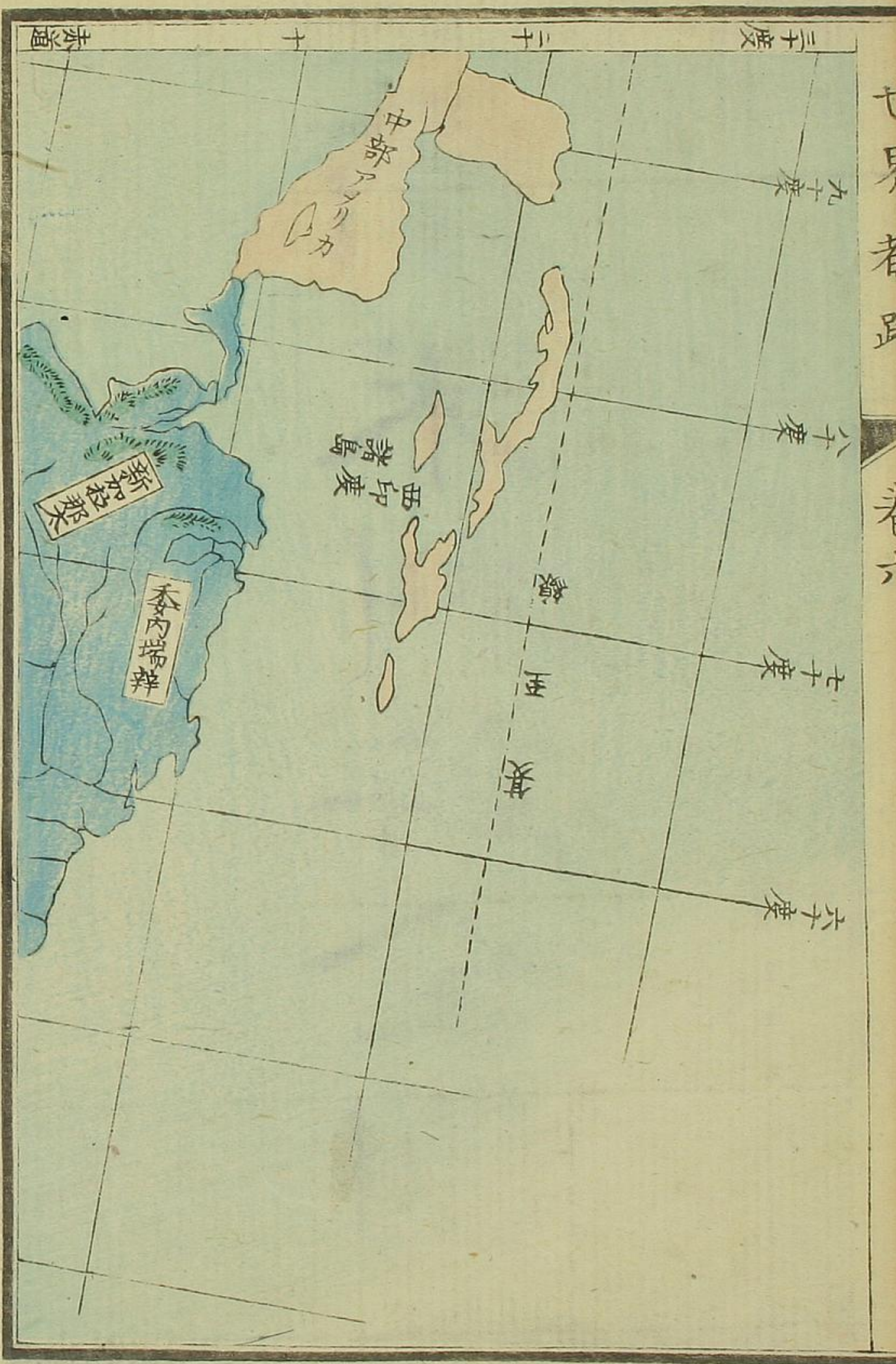
古
見
部
各
卷
下

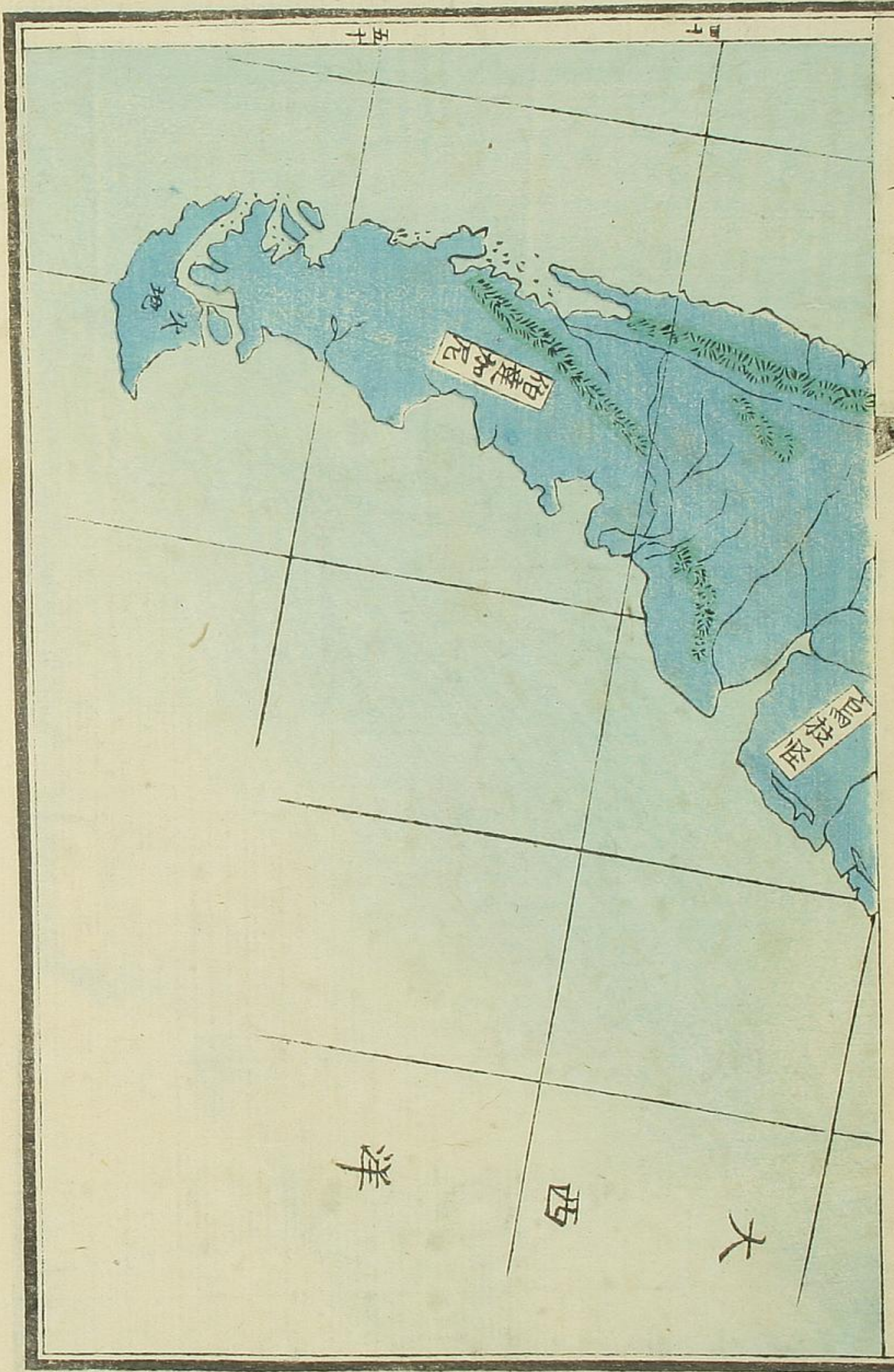
〇〇〇

文庫 11
A/837
6

柳田泉文庫

48-7743





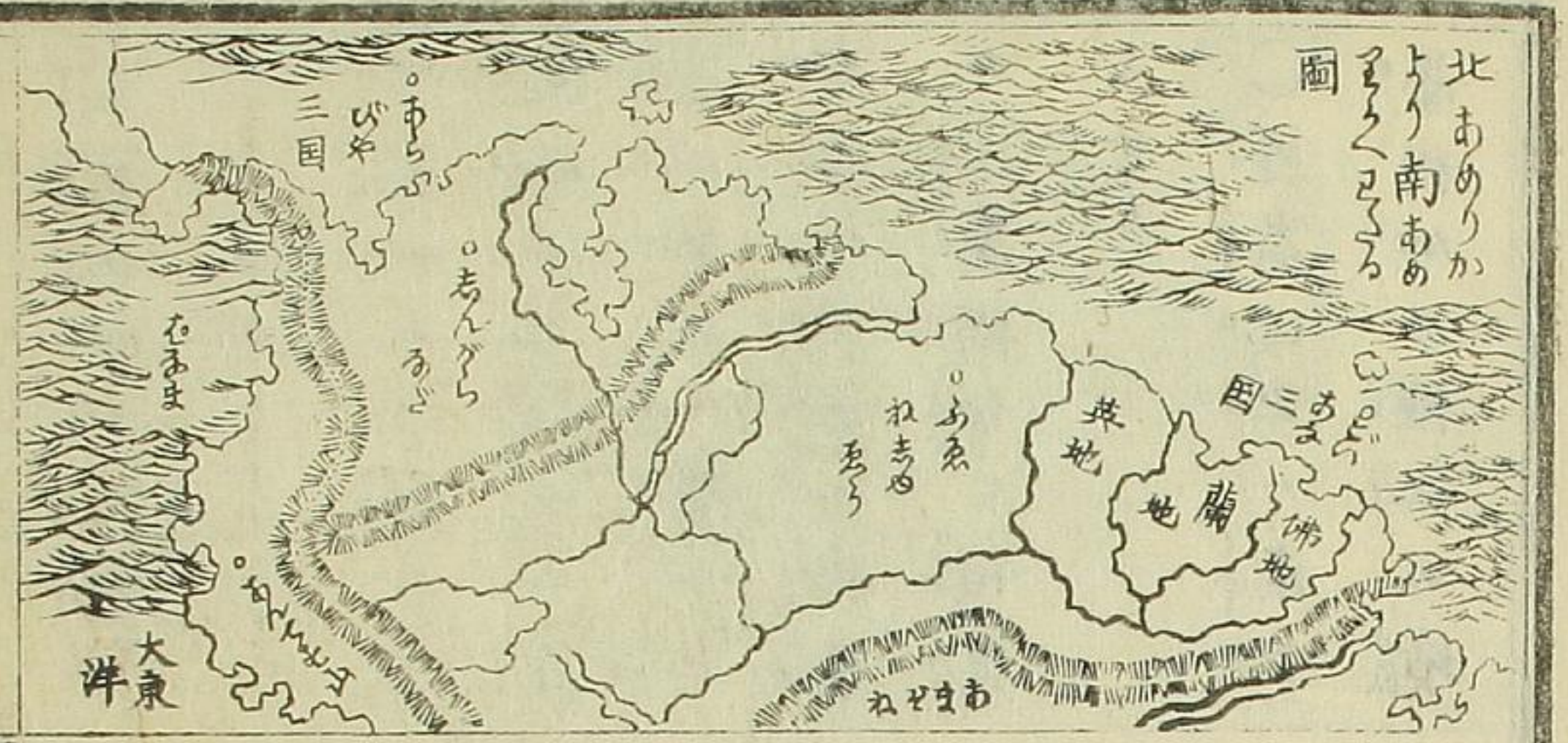
○南亞米利加之事
 東南の二箇の大
 西洋と大東洋の界
 ひ北の大西洋の界
 ひ加立比恩海の界
 ひ其居民一千五百
 三十五萬の餘あり
 初め此洲西班牙王
 其臣可崙を遣ひし
 新地を尋ね先此

南亞米利加洲
 北より南へ續く
 亞墨利加の境を
 別つ可ふ此亞米利
 加の地を尋ねし

世界諸國 卷六

土と取り三部と建
 つ後一千八百十年
 我文化七年其部人
 波里瓦爾といへる
 者兵を奉て西班牙
 人と逐ひ連戦八年
 逐め捷克と得て自
 立みし可倫比亚國
 と云ふ
 南亞米利加各國の

巴拿馬の地陝疾
 越る。蒸気車道の
 東に間ふ安達斯
 山の筋。横手内地り
 通ふ。船路あり。樹木

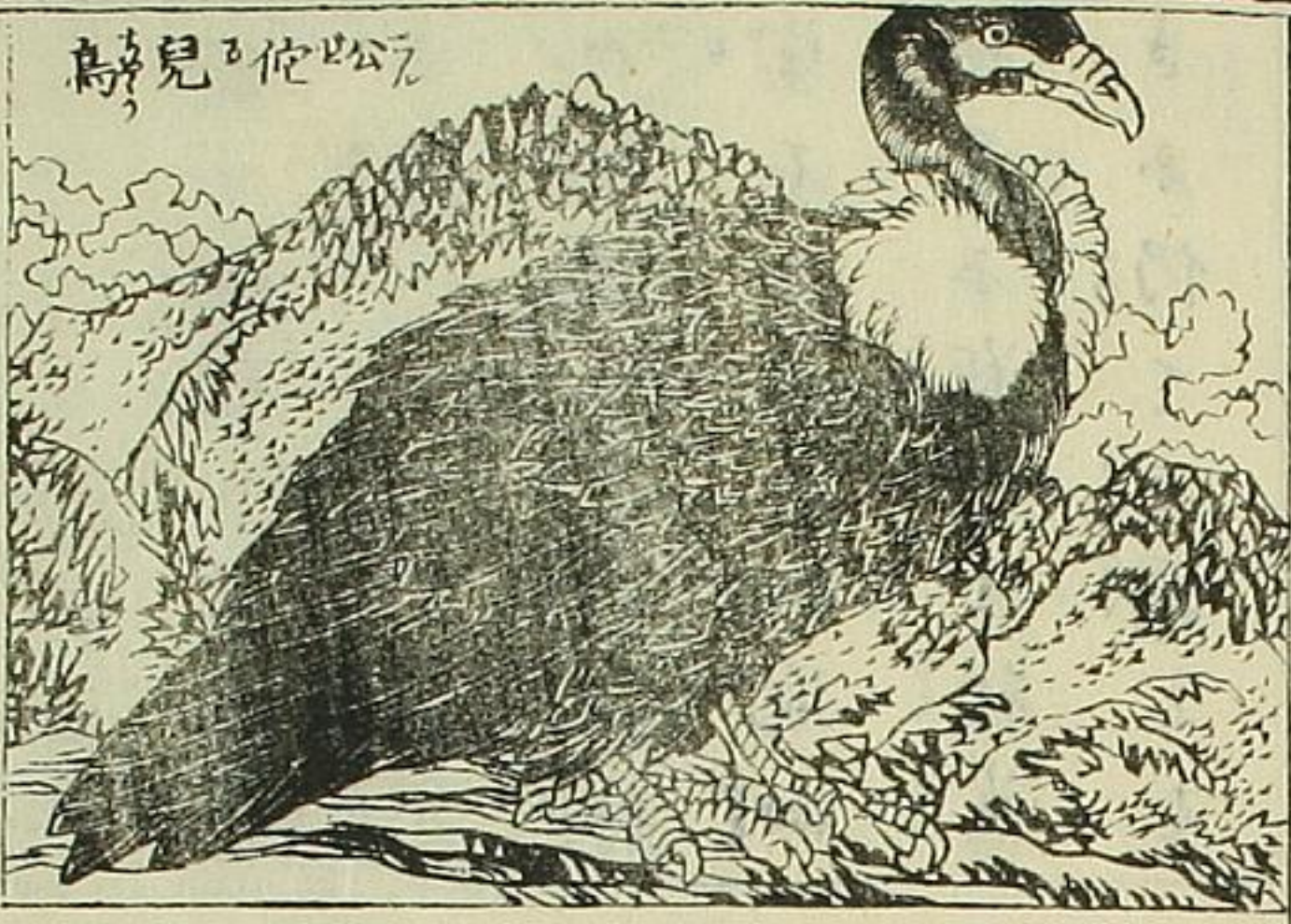


の林や。昔ながら。おぼろに
 茂る。深山。路を絶て
 檜香。け。路も。見え。な。か。
 公。他。ゆ。へ。る。の。羽。も。も。さ。
 ま。さ。も。も。荒。風。の。吹。ぬ。く。

世界

卷六

大槩西班牙と葡萄
 牙の管轄ありしが
 可崙比亚の叛き
 後各々自立せり唯
 歪阿那の三部の
 英吉利佛蘭西荷蘭
 の三箇國分て領属
 とせり
 ○可崙比亚の南亞
 墨利加の極北の境



あり西の方ふ安達
 斯の大山あり高サ
 三百餘丈又火峰有

世界 各

木の葉ふらふらと降
 ころも指下枝をさう
 ち鳴らま。獅子は
 吼びや腹蛇は毒
 ふふふふも太陽忠。

光り哉野ふ大陰地。
 稀ふ美る禽獸の
 驚りし出く折く人
 馬を害を其愁ひあり。
 山又山の丸折水又

世界 各

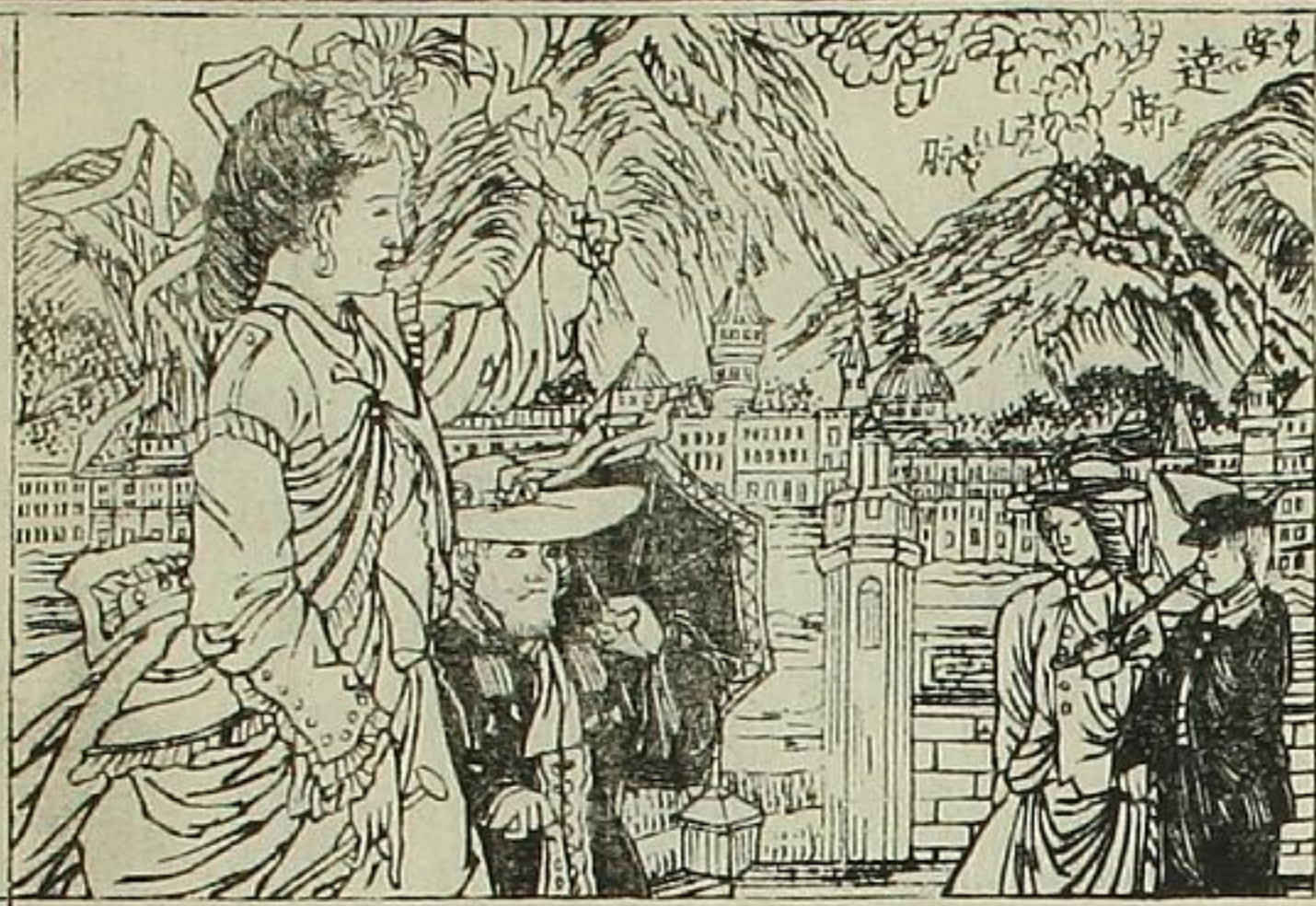
り東の方ハ平地多
 く河筋縦横不つら
 ぬき海辺ハ熱さ酷
 しく水土馴ず内
 地ハ漸温和の時
 不居ベ一産物如非
 白糖煙葉金銀珍珠
 寶石と出此地西
 班牙ハ叛きて後舊
 き小仍て三国とを

水は音源く。昔の
 掛橋は木舟を古
 の使れ雪消えを。
 未半井ん人の玉ふ
 目く年一扇くを

則ち

新加拉那太國

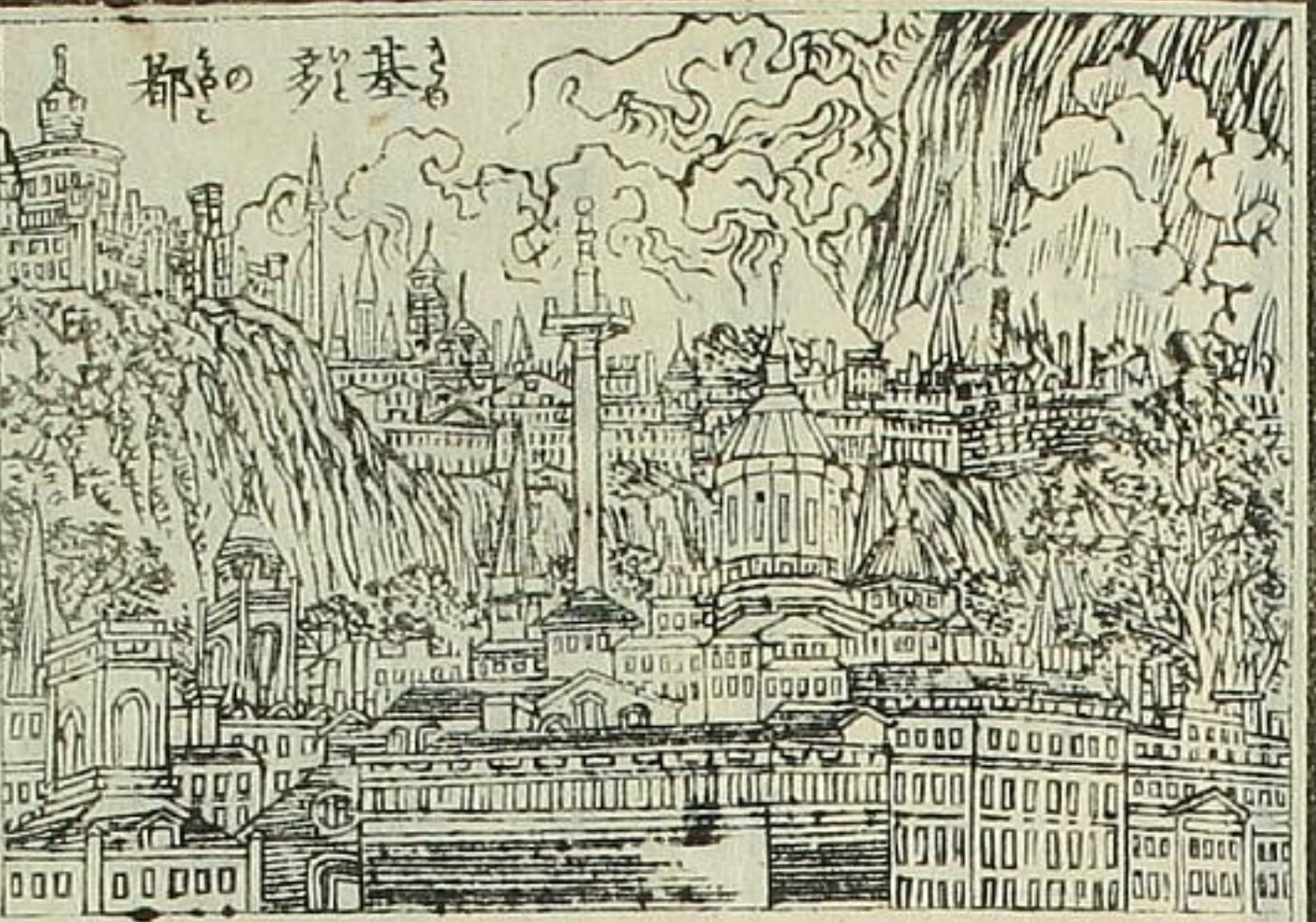
西北の境ハ在り巴



大沙は中ふ大ふ
 教簡を水の端ハ
 枚ふきを舟柳可
 命は無國ち之百
 七十九年ハ伊太

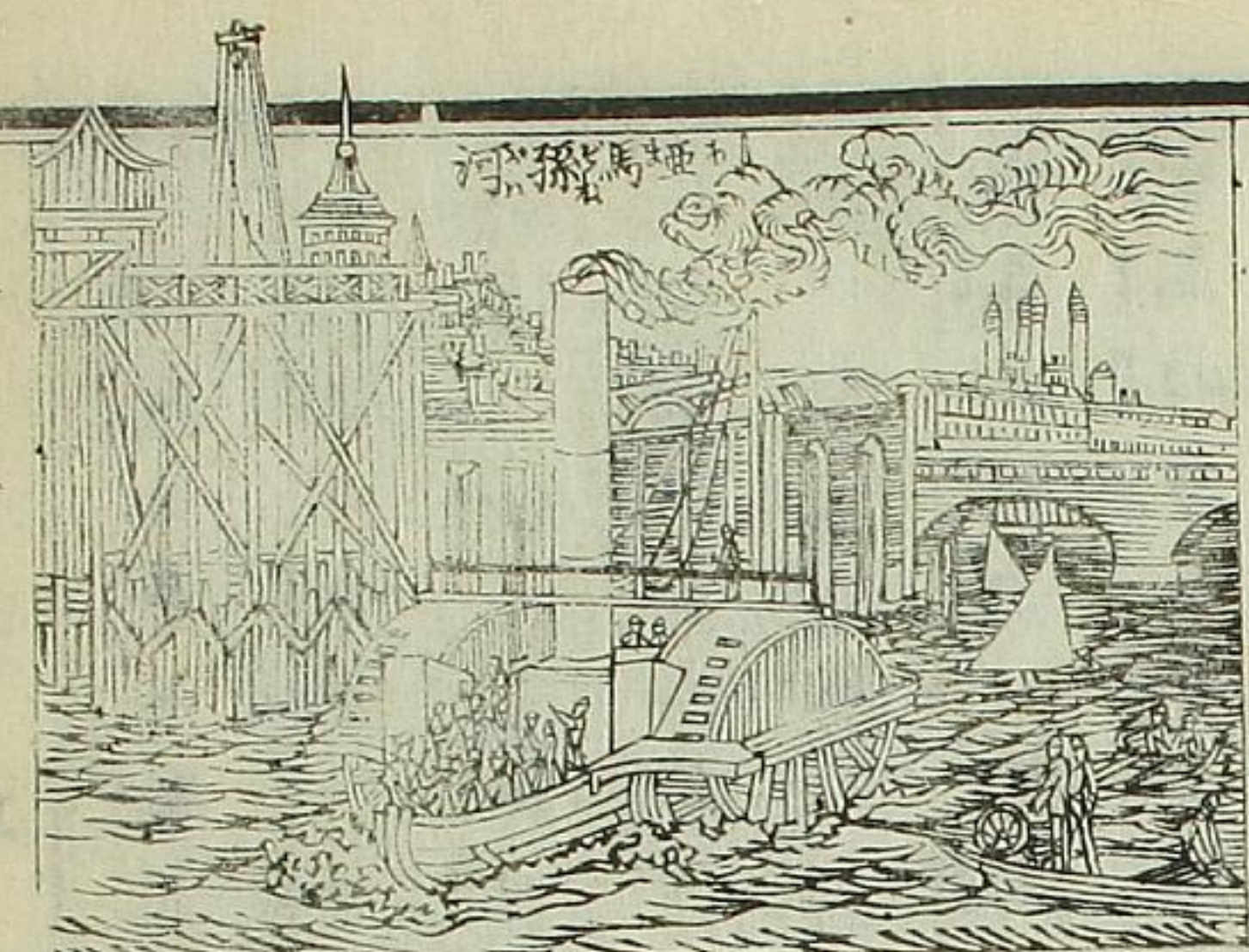
拿馬由北亞米
 利加と相連する地
 氣潤ひ田圃豊饒
 して物産多し其地
 七十八部に分つ
 厄瓜爾多國
 新加拉太の南
 在り西小界ひ山
 々亦連き其餘ハ平
 地多し地氣温く

里人の可峯もどく
 土地を換出
 する。新号りる海
 西班牙領領小版
 きて世和政土地



田土潤ひ交易盛ん
 あり地を八部に分
 け首府を山谷の中

一種の風俗を賭博
 を好む民多し婦
 女を他人に見る者
 許すぬ捉反く者
 あるを毛をりて



中の建つ
 ○ 巴西の南亞墨利
 加の大國あり其地

中建つ基多と名く
 委内瑞辣國
 二國の東に在り大
 河國中の横帯り河
 の北に平地多く炎
 熱殊に甚だしく河
 の南山多く温和に
 一物産極め豊
 あり地を十二部と
 あり大府と山谷の

この地を指して古く
 より新加拉那大と
 稱す。其地氣濕熱
 土活の物産豊
 饒金銀を採取すも

恒言の如く。此の地
 ありては。仇とて母
 を挾む。抗つて土
 人性未悍之。結
 糖く。糖る。糖るあり。

世界地理

卷六

一洲の半は居る
 北東の両面大西
 洋海の距より西北
 可崙比亞中界し
 西の幸露玻利非亞
 界は西南ハ巴拉
 圭烏拉垂の界し地
 勢平地多く間ハ山
 嶺あり江河多くし
 長し最も大ひふ

竭如四箇は坑の府
 平は地ふ占て都
 毎より建る金城の
 如る集を福す連
 界は南ふ隣る厄



者と亞馬孫と云
 西より東河口海
 中似たるをサンフ
 ベトア
 フアル

瓜爾多東は方の委
 内瑞辣大河を國を
 横きりて河なるよ水
 平地のよ可ハの南を
 山多く赤道をがら

ランシヌコと云ふ
 赤南よりして北を
 烏路愚愛と云ふ北
 よりして南西河の
 大ひあゝ亞馬孫の
 亜ぐべき者あり
 其水流もて大西洋
 海に入る其餘小河
 数多し
 此地千五百年代葡

炎熱を。覆ひく
 あつた緩やうり壘
 ち地理ふよるあつた
 於んむいし能歪
 ああ阿那。あつた佛。あつたの

葡萄牙人伯得祿阿爾
 瓦利斯といえり者



三箇ふの部より分つ
 領地あり。平地を隔
 つ山脈は界を越て
 亞馬孫は大河の東
 一箇より南亞墨利加

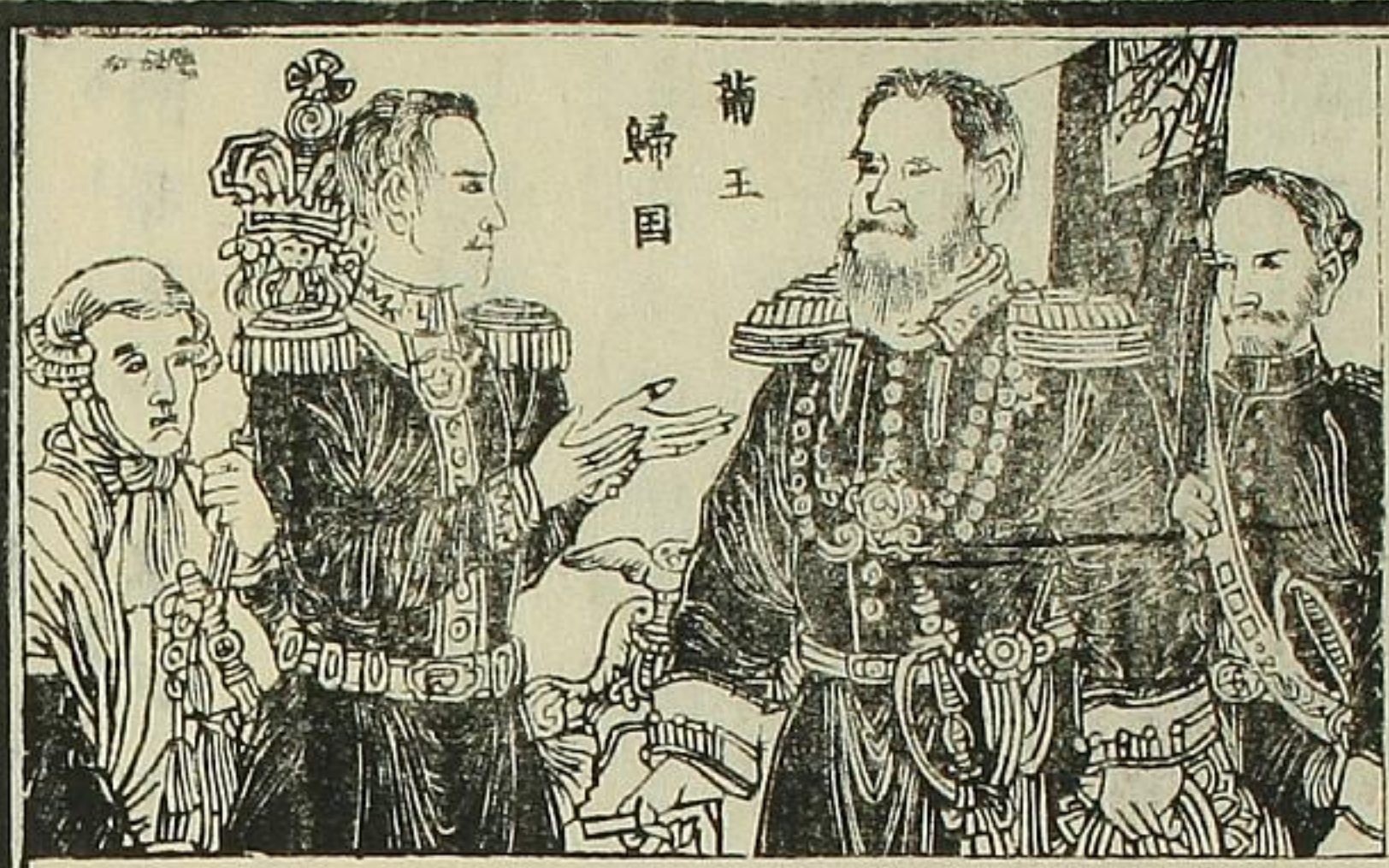
其地小距り土沃曠
 きと見え國人を徒
 して開墾きし葡萄
 牙西班牙の爲に拜
 せらとより西
 も又荷蘭の爲に奪
 へは五十餘年を經
 葡葡牙國と彼も
 の後荷蘭人と逐ひ
 たらひと本に歸し

河の中流に占る西
 小、字南をあるを
 福は次といふ處に
 大河の流は末に
 西海に海よ入江の

阿非利加の黒奴と
 買ひ耕作の助けと
 し民聚りて二百餘
 年遂に海西大部と
 める物産多く金銀
 寶石と出ると山林に
 異鳥大蛇多し十八
 百年代の始め葡萄
 牙王佛蘭西帝一世
 拿破侖の爲に過り

多き事なり報あるは
 元ある儀より友は
 子なる波種へては土
 子轉る外此の人種
 ある事拓地大國

巡^ルて巴西^ノ中^ニ適^ス且^ニ都^ヲ
と彼^ノ地^ヲ移^スと雖^モ

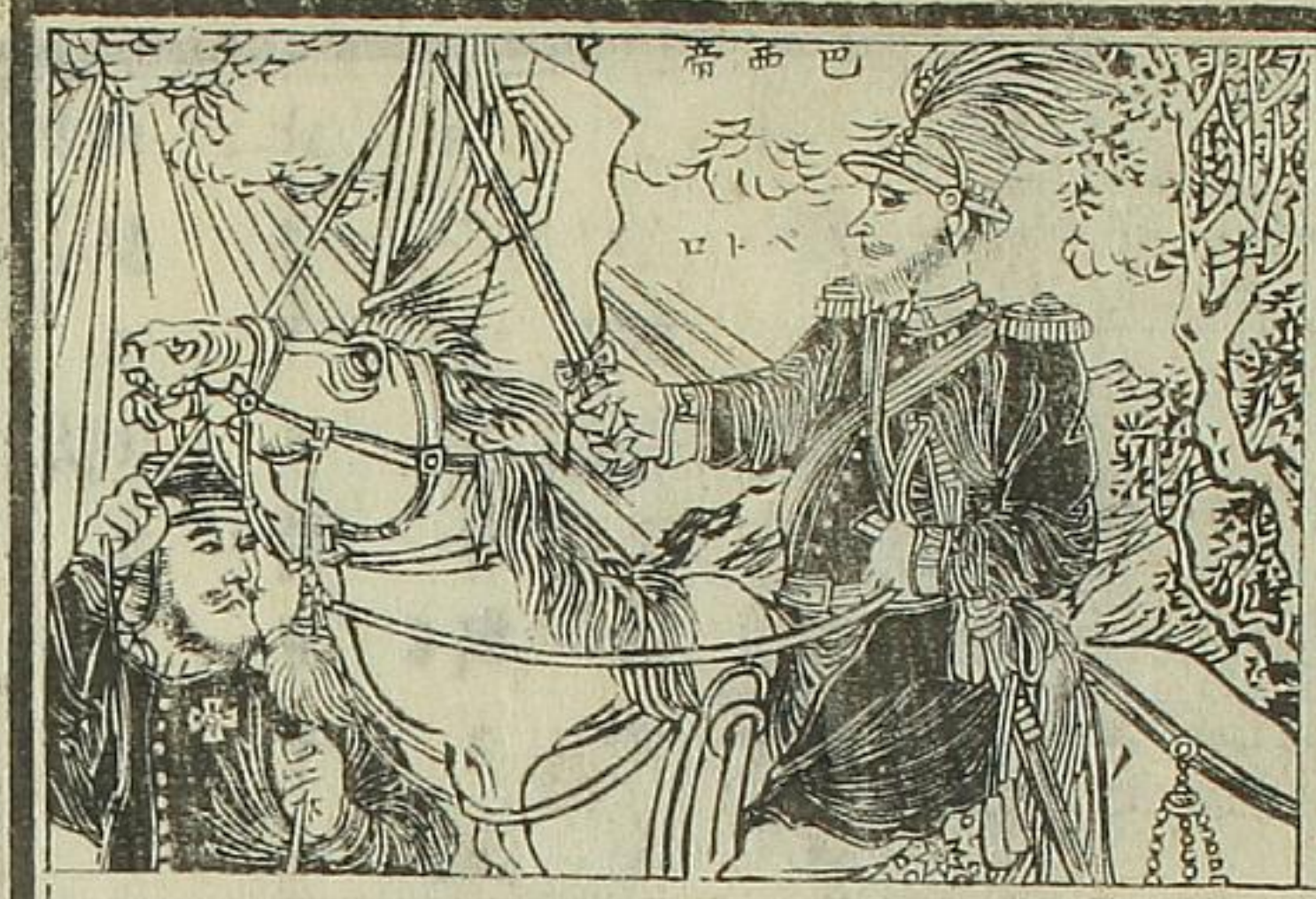


内^ノ乱^ヲ因^テ其^ノ地^ヲ
止^ムと得^セ千^八
百^二十^二年^終太^太
子^伯德^祿を留^メ
本^國に歸^ス然^ル
ゆ^ニ伯^德祿^自立^シ
巴^西帝^ト稱^ス
葡^萄牙^王本^國
歸^リ死^ス及^テ
バ^トロ^ノ女^ヲ

分^ケて十^八部^ノ里^約熱^ヲ
内^ノ産^ヲ大^部府^ヲ
人^口一^百五^十万^有
市^場環^をめ^ら
し^て百^貨貨^溢る

怒^ル皇^ノの集^大再^目を
帝^ノ廟^殿を
諸^子館^部煉^ス
近^キ海^口小^交際^法
國^々高^知を^群る

立てて葡萄牙
 女王とせしめ其
 伯父「ミグエル」之



蟻の塊を運ぶる如く
 やらみふと又反を西
 才極楽此淨土を
 釋迦のふたはたも輝
 依合仰ふ教法を

と黜け自ら國王
 と為り是れ於
 巴西帝位を其
 幼冲太子に禪り
 自ら兵を將ぬ
 葡國に攻入り其
 弟「ミグエル」と戦
 ひ之を逐ひ退け
 終つて「マ」の位に
 復す

加ふる個々多る
 々々南境不弱
 立つて一小國は巴拉
 政體文武強沙
 制度不習不格

世界部各

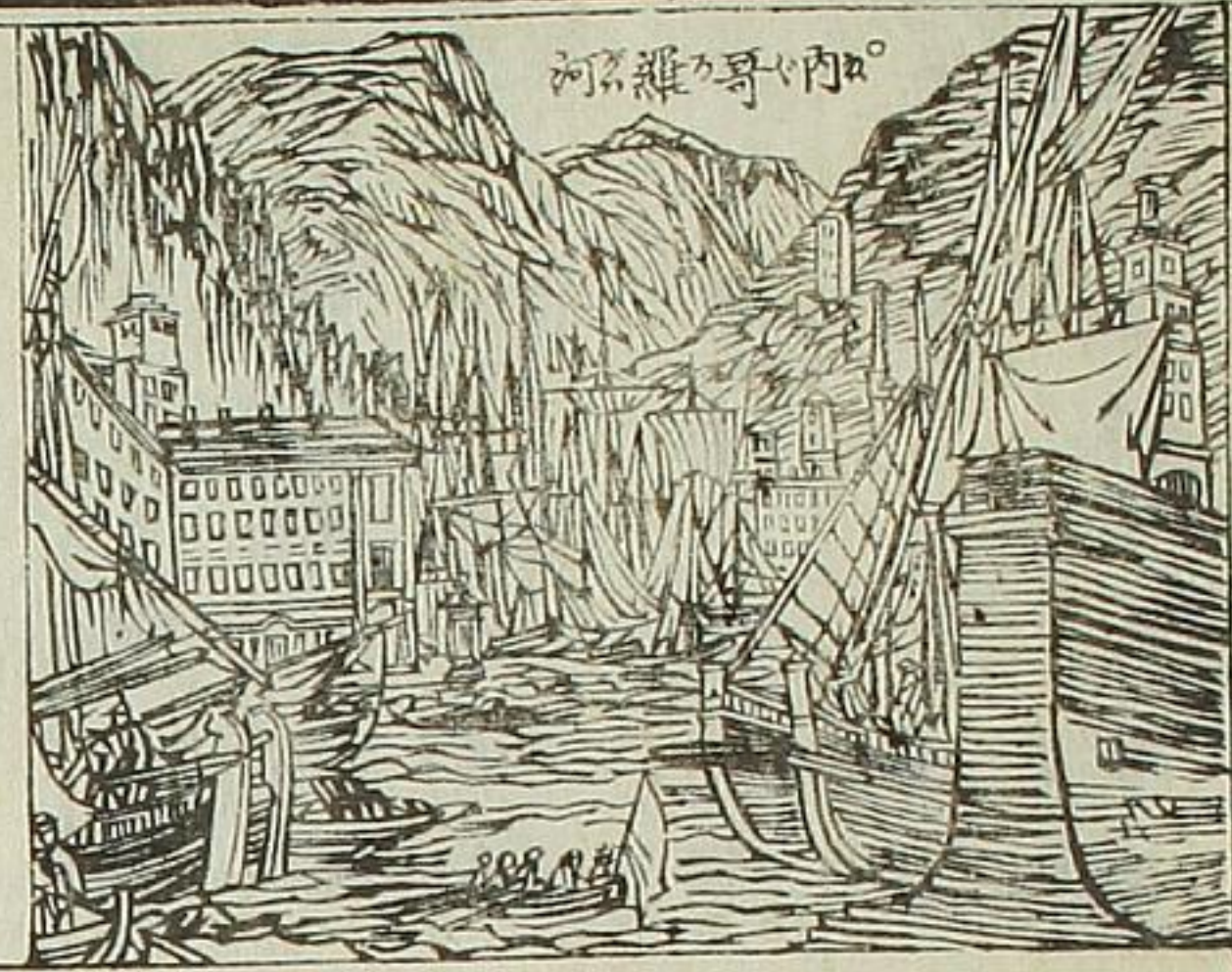
卷六

巴西人ハペトロ帝
 の太子と相助け
 事と理を由り別
 小海西の大国と為
 り示後葡国ハ属せ
 人口現今千七百
 八十萬餘あり
 ○巴拉圭ハ小国ニ
 巴西拉巴拉他の間
 小在り千五百二十

の隣も敢て侮らば。
 侵すはたが海を以て
 の中獲の堅まりゆゑ
 少くも寸蛇も大の
 勢ひを張てしるま

六年意太里人塞巴
 斯徳央加波初て其
 地を開き九年と經
 へ西班牙の為小奪
 い三洋教師の管
 理する所とありし
 が千七百年の赤洋
 教師と逐ひて拉巴
 拉他ハ隷ヒラブラ
 夕西班牙ハ畔くよ

島小國ハ開化の域
 手修のをもてを心
 歩むが程一まき南小
 隣る島拉飛大ニ西
 洋の海面と生つる

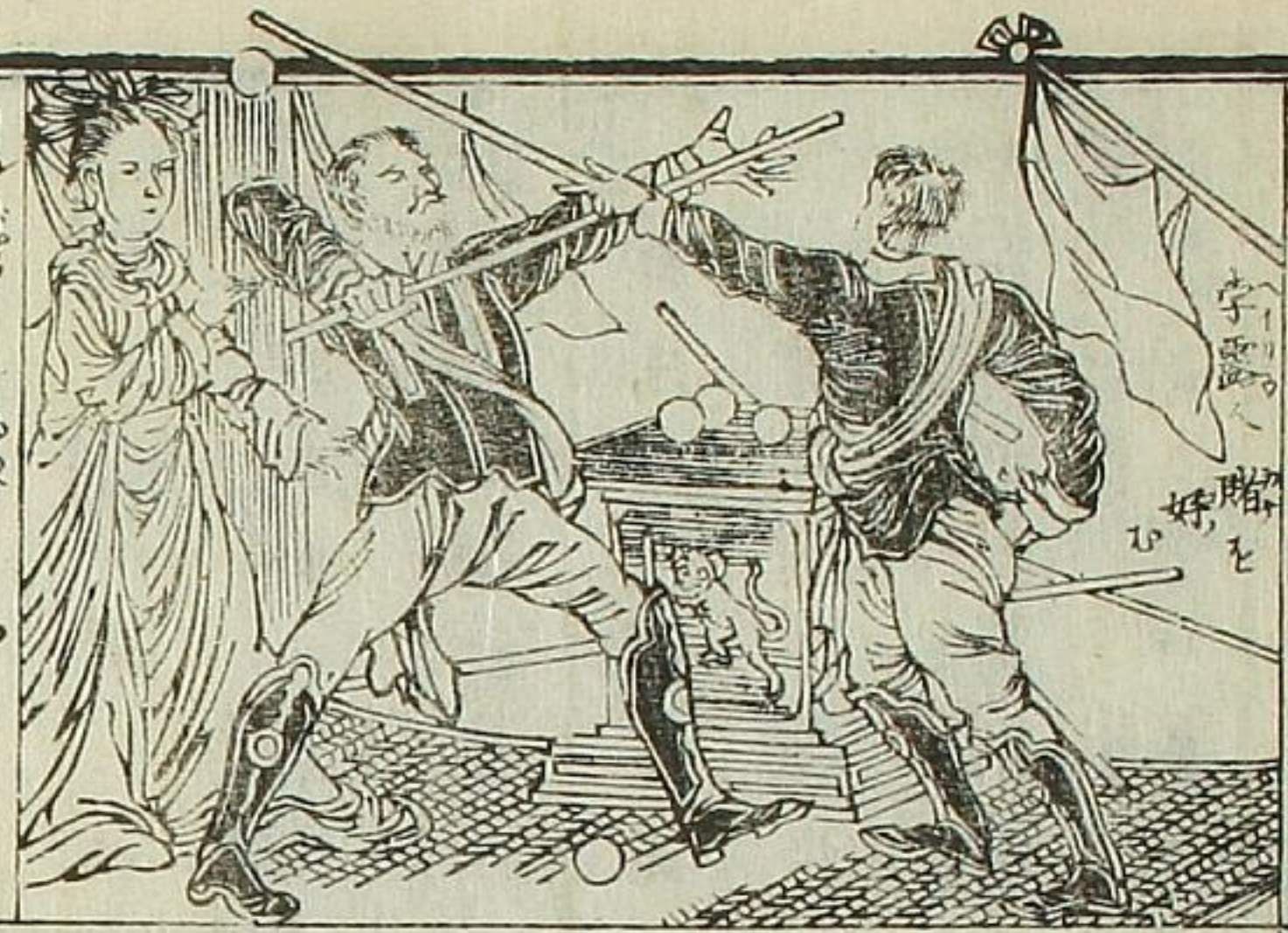


極めを豊あり
 ○ 宇露ハ南亞米利
 加の名高き国あり
 舊く玻利非亞と合

巴拉大の河哉遡る。
 安達斯山の峰つ
 ま上國は名も著
 死地勢もなまき亭
 露も山原上帯り子

一々国と為今別
 小分る北ハ可崙比
 亞小界ハ東ハ巴西
 小界ハ南ハポリピ
 海ハ距り安達斯大
 山西北ハ國の西
 界ハ環ること帯の
 如し平地の高き所
 百餘丈山下ハ炎く

雪江積も山下冬
 山毛蕨尖く冬
 暑山越別つ林は雪
 土膏肉瘦蔬穀之家
 よろき江似る能



山上ハ雪ヲ積メリ
其地古クヨリ土蕃
國ヲ建テ風俗墨西

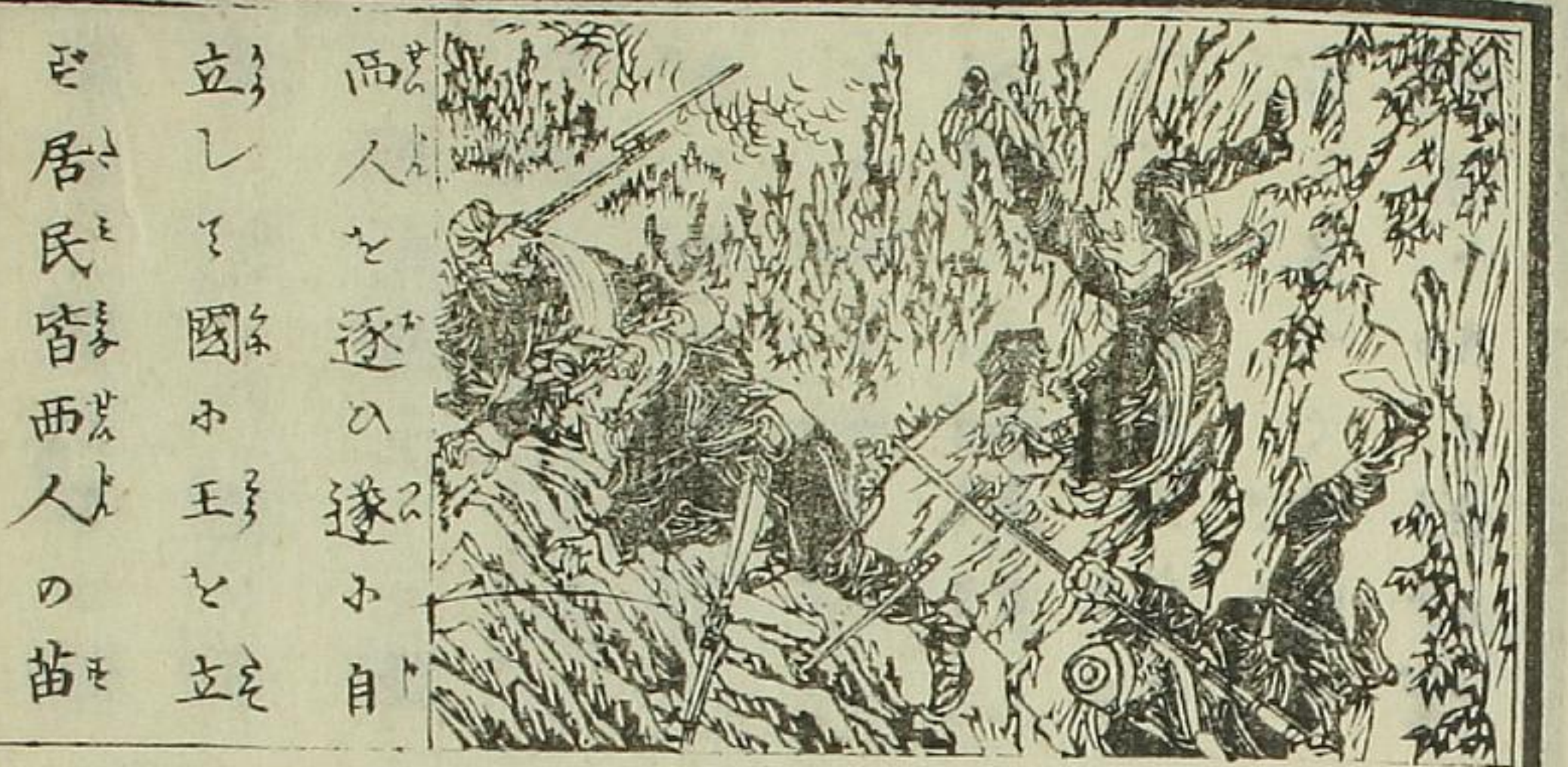
其地ハ地不產銀乃
出ルルヨリ農事ニ専
善ク國民の極
饑饉ト苦シム
其地ハ五十年前の

哥可倫比亞ト同ト
西班牙既ハ可倫比
亞ヲ得テ此地ヲ開
クの時連軍深ク入
リ軍卒層崖ヨリモ
ベリ落ち或ハハ路
ヲ失ヒテ餓死モ稍
ク小シク其國都由
至ル番王戦ハ知
ラズ炮火ハ怖ヘ

西班牙ハ其地ヲ
其共和政府トモ
其地ハ五十年前
其地ハ地不產銀
其地ハ農事ニ専
其地ハ國民の極
其地ハ饑饉ト苦
其地ハ五十年前

敢て争はざりて國遂に
 西班牙の據所とあ
 りてより西班牙人
 り來りて礦山とひ
 らき生聚ること日
 が小繁一千八百年
 代の初の西班牙佛
 蘭西に侵さるる屬
 多く畔く宇露と又
 智利と兵と合して

葡一都令東
 南小波利非亞
 智
 利
 班牙
 屬



西人を逐ひ遂に自
 立して國を玉と立
 居民皆西人の苗

民も獨立に權を
 隣に福を享く。
 今も自由の國を
 文藝武藝人々
 善小勳を

請し交りて親と深
 し唯放蕩ハ一賭
 と好むこと可憐比
 西の俗と同ト其地
 と七部ハ分つ地ハ
 金銀の外物産多し
 ○玻利非亞又高寺
 露と名づく寺露の
 東南ハ在り東地巴

民の風俗を私に
 篤実なる男を好
 了程厚く女子に
 娑の好婿を常
 嬉むる樂き女

西の界ハ東南の隅
 巴拉圭ハ界ハ南ハ
 拉巴拉他ハ界ハ西
 南の隅智利ハ界ハ
 安達斯の山脉分
 西の界ハ在者ハ
 火峰多く東の界ハ
 小在る者ハ雲と貫
 ぬき常ハ雪と積む
 其地寺露と舊一國

柳月縁ゆり金
 奏る常と福生も
 形を字へる理
 地勢彫る細長
 峻成を小横く如

小一と地気風俗物
 産相同ト故中俗呼
 んを下亭露と名づ
 く共和政治ホ一と
 國王と立を地と六
 部小分つ
 ○智利ハ玻利非亜
 の西南ハ在り東の
 方安達斯大山と阻
 て拉巴拉他ハ隣り

高き屋を雪に
 積る煙を噴物其
 火峰は角の如く
 子打帝其地を
 の憂ひは多し

西ハ大洋海ハ距り
 東南ハ他我拿ハ接
 地の形ハ細長ク



世界 都 品

卷六

〇十八

蒼田忽地珠が海に
 高る卵は焼く
 茅葺土を雪に
 山ふ山吹は黄人金白
 紅細は蔓延

帶の如く初め西班
 牙字露と獲りて進
 んだ智利と攻む土
 人拒と戦ひて降ら
 せ四年を越へて又
 元爾的維亞と云ふ
 將小命して進んを
 攻の地と得て幾何
 あく「アルテイフ
 一「阿老千人の為

海を出入る業を穀
 豊年一宜く入る八
 部五分の土地毎に
 貧窮個の多から
 以若部のその所の

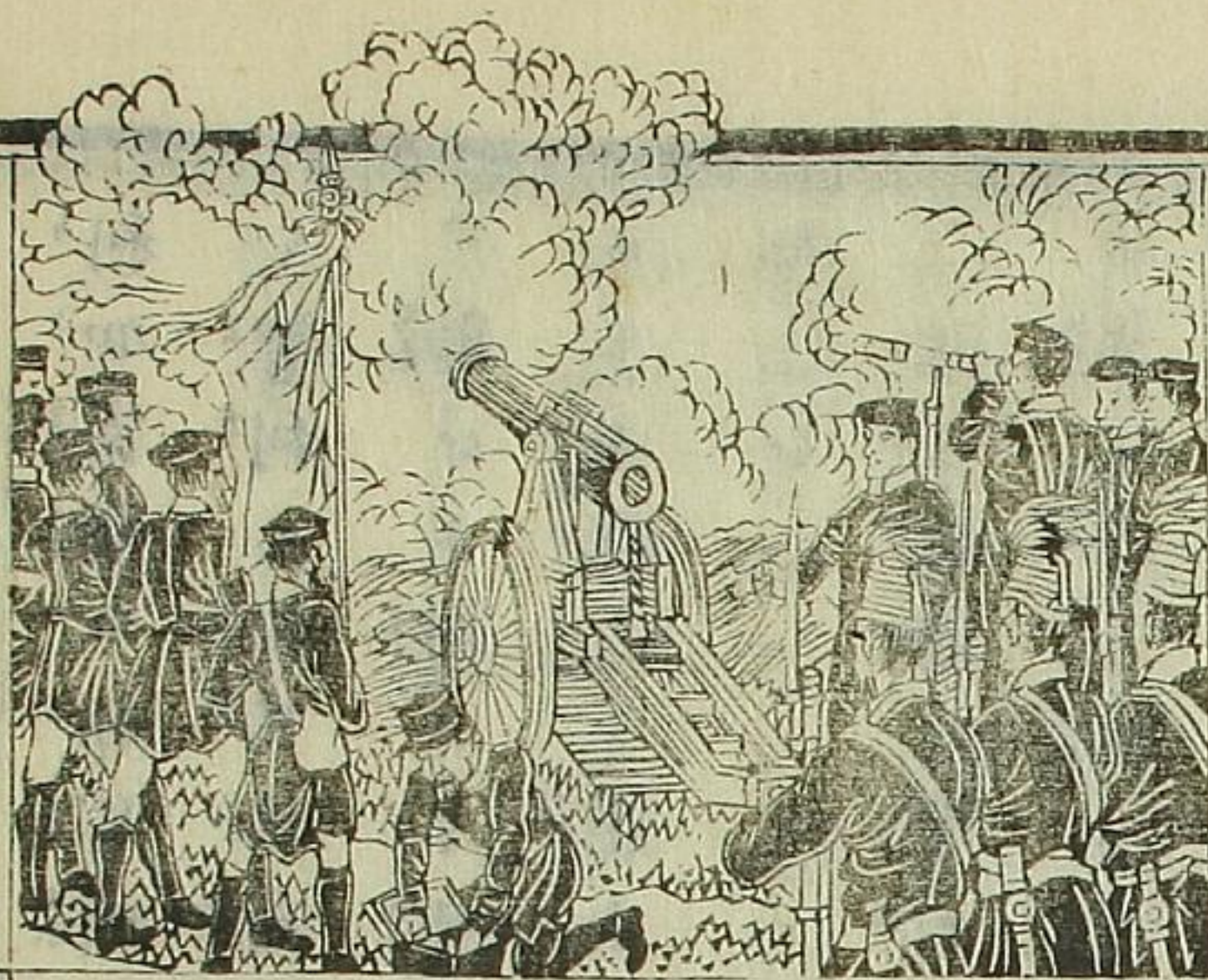
小殺さる西班才其
 得る所の地を以て
 字露小附く



其地牙我海を
 隔つ及ゆて運ぶ
 便利なる車
 や。若くは引く拉
 巴拉他是智利の

阿老干の智利別部の最も強き者
 千七百七十三年西
 班牙始めて智利を
 滅びし其全土を
 得る而して阿老干
 の一部始終属せむ
 智利小国にして事
 露諸国の比は非
 自然とどる土気沃

東は一大地國
 大河の渾ひそる西
 洋は水の筋西
 山嶺我
 牛馬牧



以鑛山多し千八百
 十年西班牙佛蘭西
 の為小侵さ亞米

畜は原野の四境
 數十の家在れ
 民を昔々
 策を萬億の牛を
 捕へ業とあ

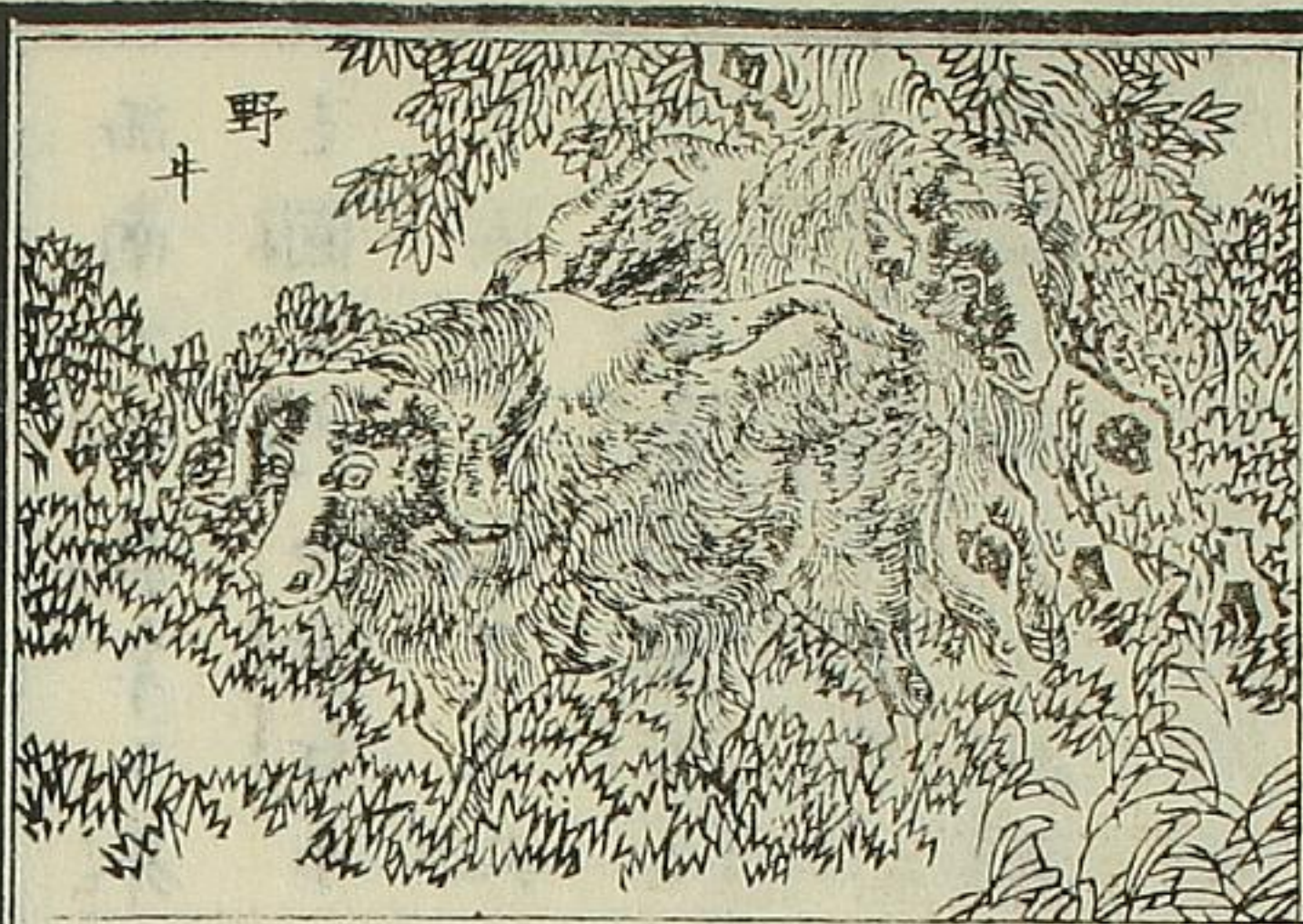
利加諸藩の部皆畔
 く智利も拉巴拉他
 の助け由りて始
 めて西班人と退去
 かしむ
 ○拉巴拉他の智利
 の東に在り北に玻
 利非亞東ハ巴拉圭
 島拉非小界以東南
 ハ大西洋海に至り

肉を食ひて皮を
 寝骨紙製し結
 器皿とて又馬小騎
 里子茶を馳免
 之程とて牛を

西南巴他裁拿小界
 在國の内ハ大江
 り國名と同ト又北
 里可馬若佰默若と
 いへる西の河あり
 東南ハ由つて大西
 洋海に入り西北ハ
 山嶺あり舊本野蕃
 部落とせしガ千
 五百年代の始ハ西

至るに捕ゆるを
 習ひしある都巴
 拉大に海口を通
 高き橋を築く
 出入毎歳数多あり

班牙王其臣索利斯
命して之と攻め
取りて有と千八



牛の皮を以て交易
も角突合の國を
極南境は
巴他我拿是也
予ち世を傳ふ也

百八年部人西班人
と逐ひて自立の國
と一米利堅の傲
共和政治と建
兼攝亞墨利加國と
稱と然と共法制立
たて規則調いど其
地十四部に分り
○巴他我拿の南亞
米利加の極南境を

人金の野を番を多
主人の我を常人の
一身中を以て上と出
適程おのく先
野獣を撰て

り北の拉巴拉他智
 利ふ界し東の大西
 洋海西の大洋海南



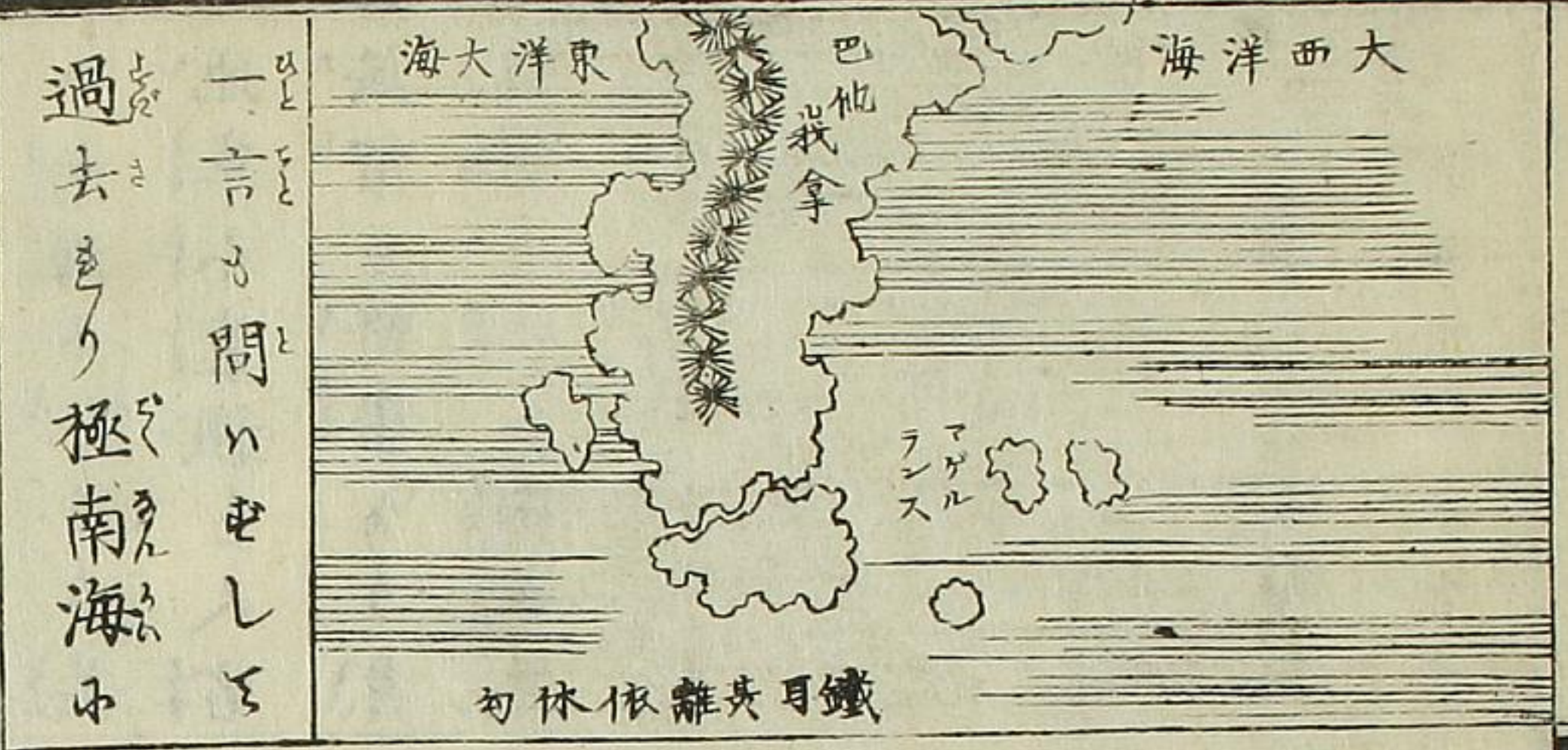
南海の距り其
 地草木荒穢と人皆
 無智の野番あり身
 材常の人小猶半身
 と加ふべし地気寒
 さ厳しく北亞米利
 加の北境の如し此
 地不毛にして物産
 あきふより歐羅巴
 人此のいたりとも

世界部各

食と事一之なる
 土地の住居は他
 土と強くは東に
 地気は熱くは水
 境は毛髪は

國小物産はあ
 たりは有るは歌
 諸人は地を
 括りては
 一音は問はる

卷六



過
去
一
言
も
問
ひ
せ
し
と
極
南
海
中

臨
む
地
不
さ
し
對
ひ
一
箇
の
島
あり
鐵
耳
離
依
休
勾
と
云
ふ
中
の
一
港
を
隔
て
麥
哲
論
と
云
ふ
島
あり
附
て
云
ふ
歐
羅
巴
人
記
事
の
と
ころ
の
四
大
洲
の
人
民
此
の
巴
他
我
拿
の

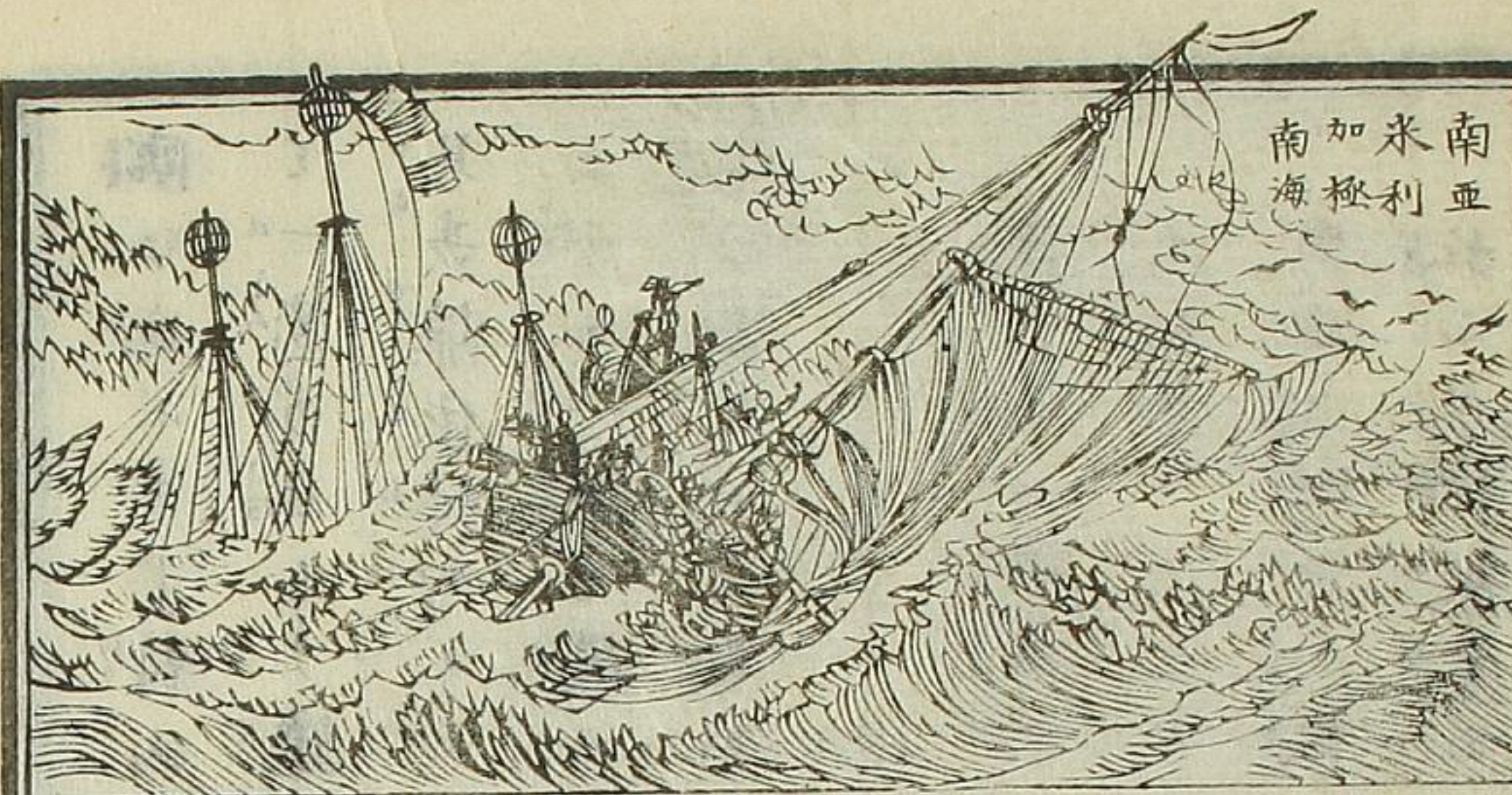
ま
る
過
る
と
我
極
南
海
中
の
地
を
鐵
耳
離
依
休
勾
と
稱
び
水
を
中
に
凝
結
び
中
に

隔
る
海
中
の
港
を
麥
哲
論
と
稱
び
あ
せ
る
昔
時
各
國
高
知
の
智
利
高
知
を
往
來
す
る
是
は
海
中
に

古
史
の
各

〇
廿
四

南米加南
利極海



由りしは港の内
小舟多く船を換ふ
言ふ事多し近以鉄
耳耳以難る由の南
の方りし道をなり。

長人と種類と異
お為るが如しと
雖も肢體の要具
お異りたる所
ることかし彼身
長く肩お垂る
の民胸お穴あり
国おどの事情と
古人の説ととの
圖と画がさあり

よるべの岸お風暴
皇大海山残るも
度ひ死後お近づ
んれし辛くも船
のるぬ事お人々

たるもろ色らみ
因りての故あり
よし



再生を以て家

思ひをたすあり。

此地をまゝて亞

墨利加に喜望峰

を我程へ名海。

010190534052

